

平成25年度 学校評価(前期) 花園中教育公約集計結果

4(達成している) 3(ほぼ達成している) 2(あまり達成していない) 1(達成していない) 4+3の割合

1「心を磨く生徒」を育成するために

(1)学習で「心を磨く生徒」を育成します。

①「立志と忠恕」を基盤に置き、学習で「心を磨く生徒」を育成します。	100.0
②朝の読書時間及び朝自習を徹底し、自分の内面と向き合う落ち着いた学級の雰囲気づくりに努めます。	83.3
③チャイム開始の徹底を図り、学習の準備を整え、授業に臨む基本姿勢の確立を図ります。	100.0
④「起立・礼・着席」「お願いします」「ありがとうございました」「はい」「です」「ます」など、礼儀を体得させ、「時・場・礼」に応じた適切な対応ができるよう指導します。	100.0
⑤教師の話や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができる生徒を育成します。	91.7
⑥生徒のキャリア育成を図り、希望と勇気を持って着実にやり抜く強い精神力を育成します。	91.7
⑦道徳、特別活動、総合の連携を図り、キャリアの発達と豊かな人間性の育成を図ります。	95.8
⑧修学旅行、自然体験教室、社会見学等の体験活動を重視し、生徒の主体性や自律性を高めます。	100.0
⑨体育祭や合唱コンクール等の学校行事を通し、団結力・協調性などを育成し、達成感を味わわせます。	100.0
⑩給食を通して奉仕や協力・協調の精神を養い、好ましい人間関係を育成します。	100.0
⑪自然に関わる学習活動を計画・実践し、生命の尊さや自然に対する畏敬の念・感動する心を育成します。	95.8

(2)清掃で「心を磨く生徒」を育成します。

①清掃を心を磨く時間と位置づけ、勤労や奉仕に対する好ましい価値観を育成します。	70.8
②清掃の目的や具体的な方法を理解させ、喜んで主体的に取り組む生徒を育成します。	66.7
③学級委員や清掃委員を中心に、清掃時間いっぱい真剣に取り組む生徒を育成します。	62.5
④場を清めることの心地よさ、清々しさ、達成感、充実感等を味わわせ美しい花園中を形成します。	70.8

(3)生徒会活動や係活動で「心を磨く生徒」を育成します。

①花と緑の教育主任中心に「心を磨く」花育活動を全校組織で推進します。	95.8
②生徒会本部や専門委員会を中心に「心を磨く」活動を計画・実施します。	95.8
③学級委員を中心に「心を磨く」活動を推進します。	83.3
④各種社会貢献活動を計画・実践し、奉仕の精神や公共の福祉について発展させます。	83.3

(4)部活動で「心を磨く生徒」を育成します。

①生徒の自主的・自発的な参画を図り、意欲の向上や責任感、連帯感の涵養を図ります。	95.8
②部活が多くの人の善意や支えにより運営されていることを理解させ、感謝をもって取り組む生徒を育成します。	95.8
③スポーツや文化等に親しませ、互いに協力し合って友情を深め、望ましい人間関係の形成を図ります。	95.8
④チームワークや不撓不屈の精神等、集団での人間関係形成能力、強い意志、克己心等を育成します。	95.8
⑤勝敗を超えた部活動の意義や価値について学び、精神的な成長を図ります。	91.7

(5)家庭・地域との連携で「心を磨く生徒」を育成します。

①定期的な家庭との情報交換により、基本的な生活習慣の確立を図ります。	95.8
②自治会長会議や民生児童委員会議に参加し、健全育成に関し学校と地域の協力体制をつくります。	91.7
③学校応援団の安心安全支援部及び花園中学校サポートチームと協力し、青少年健全育成を図ります。	95.8
④「時・場・礼」の基本項目を明確にし、家庭と連携した「時・場・礼」の徹底を目指します。	87.5

⑤幼・小・中合同学校保健委員会を中心に、メディアコントロールの取り組みを進展させます。 91.7

2「真摯に学ぶ生徒」にするために

(1)基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。

- ①教師自らが指導内容について深く研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の把握を行います。 100.0
- ②指導計画を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる時間の確保を行います。 100.0
- ③反復学習、小テスト、ワークシートなど定着方法の工夫を図ります。 95.8
- ④本時の目標や整理した学習内容等を板書し、ノートのとり方を効率的にします。 95.8
- ⑤学校総合支援員等を中核に、基礎的・基本的な学習内容の補充学習を行います。 91.7
- ⑥定期テスト前の基礎力向上補充学習を行います。 83.3
- ⑦学校応援団や大学と連携をし、3年生の基礎学力向上講座を開催します。 91.7

(2)基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成します。

- ①教師自らが指導内容について深く研究し、思考力、判断力、表現力の把握を行います。 95.8
- ②指導計画を工夫し、思考力、判断力、表現力等を習得させる時間の確保を行います。 100.0
- ③単元等の指導計画を見直し、課題解決的な学習や探究的な学習の充実を図ります。。 95.8
- ④観察・実験、現地踏査、レポート作成、推敲、発表・討論等により、思考力、判断力、表現力を育成します。 83.3
- ⑤言語活動の充実を図るため、記録、要約、説明、論述等を授業に位置づけます。 87.5
- ⑥各教科、特別活動、総合、学校行事等の掲示物を計画的に作成し、表現力や伝達能力の向上を図ります。 95.8
- ⑦「忠恕」を意識し、班による「学び愛」「教え愛」活動を行い、温かい学習集団を育成します。 95.8

(3)学習意欲の向上や学習習慣の確立を図ります。

- ①キャリア教育としての「立志」を通し、夢やあこがれ、学ぶ意義など目的意識の具現化を図ります。 87.5
- ②「学びゲーシオン」を活用し、家庭学習も含めた学習習慣の確立を目指します。 87.5
- ③少人数指導、個別指導、補充学習等により、分かる喜びを学習意欲につながる工夫をします。 95.8
- ④英語検定、漢字検定、深谷チャレンジなど各種検定への取り組みを積極的に行い、資格取得を目指します。 95.8
- ⑤生徒による授業評価を実施し、R-P-D-C-Aサイクルを生かした授業改善を行います。 91.7

3「体を鍛える生徒」にするために

(1)新体力テストの結果等を踏まえ、体力づくりの充実に努めます。

- ①運動の喜びや楽しさを味わわせ、体力を高める授業の工夫をします。 83.3
- ②基礎的な体力の向上や仲間と協力し合える場の工夫をします。 79.2
- ③身体を動かす機会を増やしたり、場の工夫や運動環境の整備に努めます。 79.2
- ④部活動は、地域や各種団体との連携を工夫し、体力、責任感、連帯感等が涵養できるよう取り組みます。 83.3

(2)意図的・継続的な健康教育を推進します。

- ①早寝、早起き、朝ごはん等の基本的な生活習慣を身に付けられるよう工夫をします。 95.8
- ②健康診断票や保健だよりで家庭との連携を図り、健康管理に力を入れます。 95.8
- ③養護教諭と教科担当とのチームティーチングにより、健康教育の増進を進めます。 100.0
- ④HQCやメディアコントロールを活用し、心身の健康に主体的に取り組む生徒を育成します。 100.0
- ⑤体育祭、林間学校、スキー教室、薬物乱用防止教室等を通し、健康・安全に関する自律的な態度を育成します。 100.0

⑥学校給食の充実に努め、健康の保持増進を図りつつ豊かな食育の推進します。 91.7

(3)「身・心相即の理」の下、立腰教育を推進します。

①腰骨を立て、アゴを引き、つねに下腹の力を抜かぬよう正しい姿勢の指導を徹底します。 91.7

②学習規律の徹底の下、心身のコントロールの確立をめざした授業を工夫します。 95.8

4「信頼される学校」にするために

(1)「日々研修」を旨に切磋琢磨する教職員集団を構築します。

①計画的、継続的な職員研修により、教職員の指導力を高める工夫をします。 100.0

②学校研究課題に基づいた研究・研修を行い、教師の自己研鑽及び組織力向上を図ります。 100.0

③性と・保護者・地域の方の声に謙虚に耳を傾け、時宜に改善を図り、真摯に対応します。 100.0

④生徒・保護者・地域の方等との対応において、相手意識に立った接遇に努めます。 100.0

⑤部活動においては生徒との信頼関係を樹立し、一人一人の個性を活かす指導を行います。 100.0

⑥年間のシラバス(学習内容・計画・評価)を配布し、家庭との連携に努めます。 100.0

⑦評価規準や観点別学習評価規準を明確にし、信頼される評価・評定にします。 100.0

(2)組織マネジメント(R-P-D-C-Aサイクル)を活用し、信頼される学校を目指します。

①学校評価を年2回実施し、ホームページや学校だより等で報告するなど、学校の説明責任を果たします。 100.0

②学校評議員・生徒・保護者・教職員による学校評価を生かし、よりよい花園中学校を構築します。 100.0

③学校評価で明確になった課題に対し、計画的・組織的に改善策を講じます。 95.8

④花園中教育公約の評価を年2回行い、学校教育目標の実現を図ります。 100.0

(3)地域連携を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進します。

①自治会長、民生委員、児童委員等との連携を深め、地域に根ざした教育を推進します。 100.0

②学校応援団の活性化を図り、地域と連携した学校教育を推進します。 100.0

③学校だよりやPTA新聞等を適宜発行し、学校の教育活動や生徒の様子を家庭・地域へ発信します。 100.0

④生徒の個人情報に配慮しつつ、ホームページを随時更新し、適切な情報発信に努めます。 100.0

⑤各種掲示物やカレンダー等を工夫し、開かれた学校づくりを推進します。 100.0

⑥深谷市校務支援メニューの連絡メールを活用し、適切な情報提供を行います。 100.0

(4)教育環境を整備し、安心・安全な学校づくりに努めます。

①危機管理マニュアルを充実し、安心・安全な学校づくりに努めます。 100.0

②学校応援団と連携し、登下校を含む安心・安全な学校づくりに努めます。 100.0

④安全教育や防災教育を精査し、年4回の避難訓練等を通して、生徒の危機回避能力の向上を図ります。 95.8

④自転車マナーアップ推進校として、PTA活動と連携し、交通事故の絶無を目指します。 100